
少年と少女

neight

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少年と少女

【Zコード】

Z65621

【作者名】

neiogut

【あらすじ】

主人公である賢すぐると、ヒロイン的少女の水月鏡花みなつききょうかが文芸部の仲間や変態教師（勝手にしゃしゃつてくる）と共に割とグダグダに学校の身の回りで起きる事件とかを解決したりするハズの物語になるハズ。

一部変態発言あり（BL系）。変態行為は無し。苦手な方は注意して下さい

俺が水月鏡花みなつききょうかと最初に出会ったのは、今から13年前の、とある雨の日の事だった。出会った時は勿論名前なんか解らなくて、「女の子」としてしか認識しておらず、名前を知ったのは、13年後の今になるのだが。

とにかく。

俺と「女の子」が出会った場所は公園だった。

雨はざあざあとかそんな軽いレベルじゃなくて、どしゃ降りで、針が刺さつたな痛さみたいなのを覚えている。

そんな中で何故親の付き添いも無く俺と「女の子」が公園に居たのかは当事者である俺でも思ひマリアナ海溝より深い謎だが、とにかく公園に居た。

「女の子」は、さびれた公園によくあるような、ピンクの像の滑り台の、腹部あたりに開いている穴の中で、雨音にかき消されない大きさで泣きに泣いていた。俺は子供ならではの純粹さで、「どうして泣いているの?」と尋ねたような気がする。何か尋ねたのは覚えているのだが、尋ねた内容は覚えていない。

「女の子」は、泣きながら「おかあさんびばれじやつだのぉ。」と言っていた。

これはやけにはっきりと覚えている。何故か。

それに対して俺は、当たり前のよう「じゃあ探してきてあげるからちょっと待つて。」と言ったのを記憶している。

泣きながらキヨトンとしている少女を一人公園に残し、俺は公園を出て行つた。

どれくらい時間がかかつたか忘れたが、確か4分くらいだと思うが、俺は一人の女性を見つけた。雨の中、傘もささずに走つていた女性は、泣いていた「女の子」そっくりだった。

俺はためらいなく女性を公園に連れて行き、見事に親子は再開を果

たした。

「さがじでぐれでありがどう。」

と、先ほどとは違つ涙で「女の子」は言つて、俺に「ありがどう、
ありがとうね」と、言い続ける女性と一緒に去つて行つた。

と言つのが、俺と水月鏡花の出会いのエピソードである。
何故今更こんな古い話を思い出したのかといつと、それは、水月鏡
花と13年ぶりの再開を果たしたからである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6562i/>

少年と少女

2010年10月9日06時16分発行